

<地域別計画（未来を実現するために地域ができること）の見直しについて>
 （市民ワークショップの意見による見直し案）

◆豊明中学校区



花の街になっている

見直し案	
花を大切にする（踏んだりしない、モラルを向上させる）。	継続
花を好きになる。	継続
花のきれいな場所を伝える。	継続
家庭で花を植える。	継続
近所の人に花の種などをあげる。	継続
事業所やお店で花を植えて、きれいさを競い合う。	継続
公共施設に花を植える。	継続
学校の緑化委員会の活動を活性化する。	継続
夏まつりや秋まつり、農協まつりなどで花を売る。	継続
三崎水辺公園、豊明中学校、間米の菜の花畑など花のきれいなところを伝え合う。	継続
子どもの頃から花を育てる機会を増やし、若い世代に知識を持ってもらう。	新規

【参考】

市民ワークショップで出された意見
花き市場を有効活用する。
若い世代への理解や知識を持ってもらう。認識を高められる活動などを行う。
子どものころから、花を育てる機会を増やす。
活動している人が高齢化しているため、若い世代を取り込んでいく。
現状では、花の街になっていない。

若い家族が好んで住めるまちである

見直し案	
子育て世代が、休日にのんびりできる場所をつくる。	修正
子育て世代が住めるように空き家を活用する。	修正
子育て世代が働きやすい事業所や商店を増やす。	修正
子育て世代がランチを楽しめる（キッズメニュー等）お店を増やす。	修正
子どもが遊べる、子育て世代が集える魅力的な場所をつくる。	新規
以上のような場所で、たくさんの地域の人活躍できる機会や場をつくる。	継続

【参考】

市民ワークショップで出された意見	
子ども食堂などをつくる。	
子どもが遊べる魅力的な場所を増やす。	
子どもが遊べる場所、子育て世代が集える場所をつくる。	

地域活動が盛んで、住民が町内行事に積極的に参加している

見直し案	
すでにある組織に住民が積極的に参加する。	継続
そのために各組織が連携・協力して、イベントを盛り上げる。	継続
高齢者の経験や知識と、若い人のアイデアと行動力を活かして地域活動を行う。	継続
地域行事に参加しやすい情報発信を行う。	新規

【参考】

市民ワークショップで出された意見	
地域行事に参加しやすくなるよう、情報発信を行う。	

◆栄中学校区



子どもの頃から人のつながりを大切にし、地域のイベントに主体的に参加している

見直し案	
家族で地域のイベントに積極的に参加する。	修正
イベントの情報を友だちなどに伝える。学級文庫に広報を置く。	継続
昼や夜にイベントをして、参加しやすくする。	継続
公園に積極的に遊びに行く。近所の人に声をかける。	継続
公園などで年の違う子ども同士で遊ぶ。	継続
高齢者が困っていたら手伝う（「荷物を持ち隊」など）。	継続
児童館を中学生でも行きやすい場所にする。	継続
部活や塾で忙しいので「地域の日」をつくる。	継続

【参考】

市民ワークショップで出された意見	
部活や塾が地域とのつながりを作ってくれとよい。	
地域のリーダーが活動しやすい（環境をつくる）。	
子どもに対して、積極的に地域のイベントなどに参加させる。	

近所同士のふれあいがあり、互いに助け合っている

見直し案	
みんなが毎日挨拶をして、挨拶を返している（家庭の中で普段から挨拶をする。挨拶隊をつくる）。	継続
日常的に声かけをする（回覧板を回す時、留守にする時など）。	修正
物々交換などでコミュニケーションを図る。	削除
互いの状況を知る（どのような人が住んでいるのか、どんな団体、イベントがあるかなど）。	修正
共助の活動をする（庭木の剪定、ごみ出し、買い物など、困っていることを手伝う。見守り隊を結成する）。	継続
共同作業をする（防犯パトロール、清掃活動など、地域の活動に子どものうちから参加してもらう）。	継続
地域で楽しみを共有する（餅つき大会、花壇、趣味など）。	継続
地域の行事や活動に気軽に参加できるような雰囲気をつくる。	新規

【参考】

市民ワークショップで出された意見	
外国人に限らず地域に参加しやすくする。新しい人や考えを受け入れる気持ちを持つ。	
地域の状況を知る（どのような人が住んでいるのか、どんな団体、イベントがあるかなど）。	
気軽に参加しやすい活動があるとよい。参加しやすい雰囲気をつくる。	
地域の活動に家族みんなで参加する。	
町内会に外国人を入れる、活動に参加してもらう。	
小学校を花で飾るなどきれいにする（地域の人がかかわる、花いっぱい運動に学校も含める）。	
町内会を充実させる（若い人が参加しやすい雰囲気、イベントなど）。	

地域の親、祖父母がいて、子どもが大人になる育ちを支援している

見直し案	
大人同士が横のつながりをもつ（ごみ出し、通学時の見守り、イベント）。	継続
子どもと一緒にいる機会と時間を増やす（ラジオ体操、イベント、遊びの伝承など）。	継続
子どもが大人に教える。大人が子どもに教える。	継続
敬老会だけの活動ではなく、子どもを巻き込む（その逆もある）。	継続
地域の行事で、世代で偏りがないようにする。	継続
空き家などを活用して、大人と子どもと一緒に遊べる場所にする。	継続
農家や地元産業と協力して、親子の体験の機会をつくる。	継続

◆沓掛中学校区



子どもが広い場所で思いっきり体を動かして遊ぶことができる

見直し案	
小さい子どもと遊んだり走ったりする。	継続
自分の好きな遊びを見つける。	継続
自分の好きなスポーツを教えたり、教えてもらったりする。	継続
学校を使いやすくする。	継続
川をきれいにする。	継続
神社、河川敷などに遊べる場所をつくる。	継続
サッカーや野球ができる広い場所をつくる。	継続
グラウンドは無料で遊べるようにする。	継続
子どもが安全に遊べる場所、親が安心して遊ばせることができる場所をつくる。	新規

【参考】

市民ワークショップで出された意見
地域で公園の管理なども考える。
子どもが安全に、親が安心して遊ばせられる場をつくる。

向こう三軒両隣の付き合いがあり、思いやりがある

見直し案	
会った人とあいさつをする。	継続
人々の交流の機会をつくる（世代を超えて、一緒に体を動かす、楽しむ）。	継続
高齢者の日常を知り、互いに助け合う。	継続
小さなことから助け合いの活動を始める。	継続
空き家などを活用し、いつでも気軽に集まれるサロンのような場をつくる。	継続
班単位で活動ができるようにする。	継続

【参考】

市民ワークショップで出された意見
他人を思いやる心を持つ。
実現できていないことが多く、継続するべき。

移動や買い物などで、暮らしやすい環境になっている

見直し案	
地域の事情に合った移動手段に変えていく（乗り合いスタイル。規制については行政と検討）。	継続
店と検討し、移動販売ができるようにする。	継続
地元の人が地元で消費するように工夫する（地元で買い物をすることで得するような仕掛けなど）。	継続
困り事を地域で解決できるような助け合いを行う（ワンコイン制など）。	継続

【参考】

市民ワークショップで出された意見
地産地消をさらに進めていく。
移動手段などがあり、暮らしやすい環境になってきている。